

様々な理由で
ピアノを習いに
行けない

ピアノが
弾けるよう
になりたい

アール

みんなのピアノ

プロジェクト
サポートスタッフ募集



「みんなのピアノプロジェクト」は、ピアノを弾きたいという夢を自力では叶えられない子どもたちに、アールのピアノを無料で開放する企画です。昨年からはじめ、ピアノ初心者の参加者に地元のピアノ講師が立ち会い、ピアノを弾けるようになることの喜びをサポートしてきました。多くの子どもたちを受け入れるために、サポートスタッフを募集いたします。ご希望の方は裏面の申込書をご提出ください。

日程：2019年5月～2020年3月16:30 - 20:00の間 月・木・金曜日の指定日に実施

会場：可児市文化創造センター・演劇練習室（岐阜県可児市下恵土 3433-139）

募集対象：ピアノ講師または大学でピアノを専攻されている方

謝金：500円（30分1コマ）

お問合せ：可児市文化創造センター・松浦

TEL：0574-60-3311 Email：ms-matsu@kpac.or.jp



この「みんなのピアノプロジェクト」で使用するピアノは、兵庫県西宮市にお住まいだった故・脇坂憲昭さん・暢子さん夫妻の寄贈を受けたものです。

2018年2月5日の冷え込んだ小雨の日に、そのピアノは西宮市からアーラにやってきました。『アーラ未来の演奏家プロジェクト』や『祈りのコンサート』のコーディネーターをしていただいている作曲家の佐野秀典さんからピアノを寄贈したいという方がいると2017年の夏に連絡をもらいました。音楽をこよなく愛するご夫婦で、奥様は数年前に亡くなられたが、旦那様も病の床にあり、その方が自宅にあるヤマハの職人の手による特注のピアノをどこかに寄贈したいとおっしゃっている、という話でした。ピアノが好きだった奥様の暢子さんに、憲昭さんがプレゼントしたピアノだそうです。お子様はいらっしゃらず、幾度の困難も二人で助け合い、喜怒哀楽を共にしたご夫妻の、夫婦愛の結晶のひとつです。2017年12月31日、佐野さんが憲昭さんの病床の横で「荒城の月」を弾かれたときは、涙を流して喜んでおられた様です。

年が明けて憲昭さんが亡くなる直前に、ご本人の希望で「夢・希望をつむぐピアノ」としてアーラに寄贈されたこのピアノ。この先、「ピアノを弾きたい」という夢や希望を心に抱いている子供たちに、その機会を作るピアノとして、育ててくれることを願っています。

【申込方法】 下記申込書にご記入の上、可児市文化創造センター窓口または郵便、FAX、メールにてお申込みください。

【申込・問合せ先】 可児市文化創造センター 担当：松浦・坂崎

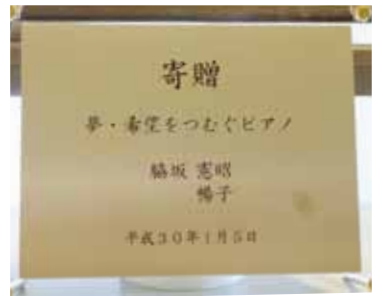
TEL:0574-60-3311 / FAX:0574-60-3312 / mail: info@kpac.or.jp

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土 3433-139 (9:00-22:30 火曜休館)

【申込締切】 2019年4月20日まで



アーラに運ばれてきた日



「夢・希望をつむぐピアノ」と命名



サポートスタッフとの打合せ

✂きりとり

<みんなのピアノプロジェクト サポートスタッフ申込書> ※後日スケジュールのご希望を聞き取りさせていただきます。

(ふりがな)			
氏名	所属 (勤務先・大学名)	年齢	
住所 (〒 -)			
TEL		E-mail	
自己PR欄			

※個人情報とは本プロジェクト以外で利用、開示することはありません。